



Kiwi

Report

第4号 2023/11/13

11月10日（金）

◆登校

今日の天気は相変わらずの曇り空。肌寒い感じで、やはり上着は欠かせない天気です。それぞれのバディと一緒に登校し、集合時間の8時45分には全員集合。みんなが楽しみにしている活動日のためか、心なしか足取りが軽く笑顔も多く見られる感じがします。生徒たちに昨夜のディナーを聞いたところ、チキン入りの混ぜごはん？、ソーセージ、キャロット、マッシュポテト、パイン入りのピザ等のご馳走をいただいたとのことでした。また、ホストの家で迎える3日目の夜ということで、ホストファミリーと一緒にショッピングやクリケットをしたり、マウンテンバイクで散策したり、ドラマや映画を見る等、事前研修で学んだコミュニケーション力を活かし、着実にホストとの距離が近づいています。頼もしいですね！

◆出発

さて、今日の活動は、ニュージーランドの大自然を体験するために行っているアクティビティ活動「ドイツツアー」です。図書館で簡単なミーティングを行いバスへ乗車。派遣団の他、ダーフィールドハイスクールより、早川すみ先生に同行していただき、総勢14名での出発となりました。予定より10分遅れ、9時10分にキャッスルヒルに向け出発。今日のドライバーはリチャードさん。ニュージーランドならではの軽快な運転が続きます。

◆キャッスルヒル

学校出発後、約40分で最初の目的地「キャッスルヒル」に到着。空には雲の切れ間から、待望の太陽がのぞいています。みんなの日頃の行いの良さが現れたのか、ここからは晴天が続きました。



山道を走ったためか、若干、車酔いする生徒もいましたが、全員元気に到着。絶好のコンディションとなりました。

ここキャッスルヒルには、氷河期の名残となる、丸みを帯びた巨岩がいくつも並んでいます。非常に神秘的なスポットで、マオリの人々にとっては神聖な場所とされているそうです。生徒たちは気に入った岩に登り記念撮影をしたり、芝生に寝転んでポーズをとったりと、それぞれに楽しんでいました。



◆ルビコンファーム

次は、ルビコンファームに移動し昼食をとります。ランチはビュッフェ形式で、ラム、ビーフソーセージ、サラダ、じゃがバター、パン等もりだくさん。デザートには美味しそうなケーキやフルーツも。キャッスルヒルでたくさん歩いたので、お腹もすいていて、おかわりをする生徒もたくさんいました。

続いて、とても身体が大きいスタッフのクリスさんが登場。羊や牧羊犬についてユーモアを交えながら説明していただいた後、牧羊犬による羊の追い込み実演も行ってくれました。終了後は、隣のステージに移動し羊の毛刈り体験を行いました。クリスさんの指導の下、ハサミを片手に恐る恐る、何とか全員で順番に毛刈りを行うことができました。

また、クリスさんへの質問コーナーも設けられ、事前に勉強してきた英語を用いて「この農場で1番大きな羊の重さは」、「この仕事は楽しいですか」、「この農場には何種類の動物がいますか」等、全員がしっかりと質問。ちなみに上記の質問に対する回答は「約100kg」、「とても楽しい」、「馬やアルパカ、羊、犬、猫等たくさん」とのことでした。



その後、更に車で移動。今日のアクティビティの中で、多くの生徒が最も楽しみにしていたと思われるジェットボートの乗車となります。

それぞれ希望の座席へ座り、注意事項などを確認しスタートを待ちます。エンジンの爆音が渓谷に響き渡る中、豪快な水しぶきを上げてスタート。あっという間に物凄いスピードに到達し進んだジェットボートは、溪流の岸すれすれを走り抜けたり、急旋回をしたりと迫力満点の内容でした。ちなみに今日のボートの最高時速は85kmとのことでした。生徒たちは、「スピードがあり迫力があつた」、「楽しかった」、「ドライバーのテクニックがすごかった」等、笑顔で感想を話していました。



◆帰宅

帰りの車の中でも今日のデイツアーの話などで盛り上がり、あっという間にダーフィールドハイスクールへ到着。迎えに来たホストファミリーと一緒に帰宅しました。

学校での活動は残すところあと1日。ホストの家で過ごす夜はあと4回。週が明け月曜日には早くも「さよならパーティ」となってしまいます。明日からの週末2日間はホストと過ごす大切な時間となります。人生の宝物となるような思い出を作るためにも、しっかりと交流を深めてほしいと思います。

